

第3回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立芦間高等学校
校長名	安田 幸一

開催日時	令和 6年1月31日(水) 15:30 ~ 17:05
開催場所	大阪府立芦間高等学校 校長室
出席者(委員)	笹山幸子、千石仮名江、宮坂政宏、草野功一、高松真由美、奥野和夫(敬称略)
出席者(学校)	安田幸一(校長)、佐々木博章(教頭)、興梠裕一(事務長)、角山愉紀雄(首席)、亀井絵里(首席)(敬称略)
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度 第2回学校運営協議会 レジメ 資料1 令和5年度学校経営計画評価及び学校評価 評価案3 資料2 令和6年度学校経営計画 案1
備考	

議題等(次第順)

第3回 学校運営協議会 議事録 令和6年1月 31 日(水)15:30~15:05

【構成員】委員:笹山幸子、千石仮名江、宮坂政宏、草野功一、高松真由美、奥野和夫

事務局:佐々木博章(教頭)、興梠裕一(事務長)、角山愉紀雄(首席)、亀井絵里(首席)、

【出席者】笹山幸子、千石仮名江、宮坂政宏、草野功一、高松真由美、奥野和夫、佐々木博章(教頭)、興梠裕一(事務長)、角山愉紀雄(首席)、亀井絵里(首席)

【内容】

1 校長 挨拶

2 報告事項

- (1)令和5年度学校教育自己診断について 校長より
(2)令和5年度学校経営計画評価1について(校長) 校長より

3 審議と協議 報告について協議 進行は笹山会長

(1)令和5年度学校教育自己診断について

委員 働き方改革の項目で、教員の評価が低いことが気になる。

校長 教員からの16件の提言にもあったが、教員との話し合いが必要か。単純に仕事の時間を減らすのではなく、どれだけサポートできるかも大切。

委員 文書のデジタル化を進め、HPIにも配布プリント等を掲載しているが、文書の量が多く難しい言葉で書かれているので、保護者に伝わりにくい。配信するプリントの構成を工夫してはどうか。

教頭 会議資料のペーパーレス(デジタル化)に取り組んでいるが進んでいない。メルマガに登録した保護者だけが閲覧できる保護者サイトを開設し、HPIには掲載できない行事の写真等を掲載し、メールでお知らせしている。アクセス数は多い。

首席 保護者サイトに各学年から教頭に申し出でて掲載してもらい、メールで保護者にお知らせしている。1、2年の保護者は生徒数を超える登録数があるが、3年はやや少ない。

教頭 最近、各学年からの掲載依頼が減っている。もう少し、教員が意識して発信するとよい。

委員 実態と自己診断の評価にギャップがある。共生では1年生から就業を意識させているが、総合学科ではどうか。進学型総合学科として、関関同立、産近甲龍70名を1年生から意識させるのが、よいのでは。芦間高校ではこれだけやってくれるというのを、卒業生が後輩や兄弟等を通じて伝えていくようになるとうい。キャリア教育等頑張っていることを、もっとアピールする場があるとよい。「先生に相談できる」が70%は妥当な数字である。

校長 きめ細かくやっているが、状況の変化に対応するのは遅れている。変化を含めた対応の必要性を教員に対してもっと発信すべきか。

委員 前年度、前前年度と比べ、数値的には上がっているものも多く、評価できる。「指導と評価の一体化」は学校経営計画に入れるべきである。指導のあり方が適切か、ルーブリックを作るときに注意すべき。学びに向かう力は、生徒がどこまでできたかということだけではなく、なぜできたのか、なぜできなかったのかを、生徒が自分自身で評価してそれを自分自身で改善していけるようにすることが必要。相互の話が伝わるようにするには、インナーコミュニケーションを確立することが必要。Webページで大切なのは、ユーザーインターフェースとユーザーエクスペリエンスである。ストレスチェックの数値は上がっているが、ストレス緩和要因が下がっていなければ大丈夫である。

校長 幅広くもっとできることを考えていきたい

委員 生徒の肯定感が高い。授業参観の参加率が高かった。生徒との関わりが高いのは学校を良くしていきたいという意識の表れである。人のせいにするのではなく自分は何ができるのかを考えていくことが大事。京セラ稲盛会長の職場づくりは参考になる。

首席 授業の内容や進め方について、担当者間ですり合わせをする時間もない。教材をICT化するために1日中パソコンに向かっている教員も多い。

委員 どの学校もできているわけではないが、積み重ねていくことで、目標に近づくことができるので、あきらめないでやっていくことが大事。

教頭 10年目研修対象教員を中心に、授業改善の取組みが進められており、今後はこの取組みを教員全体へとどう広げていくかが課題である。

(2)令和6年度学校経営計画案

校長 本日のご協議内容を踏まえ、一部修正を検討したい。後日お届けするので、その上で最終承認願いたい。

委員 「めざす学校像」、「中期的目標」に「指導と評価の一体化」を追加する形で承認。

【3】次年度について (1)校長より連絡します

【4】閉会 (1) 校長より1年間のお礼 (2)次年度について校長より連絡することを伝えた。

次回の会議日程

日時	令和6年6月
会場	大阪府立芦間高等学校